



ごあいさつ

同窓会会長 山崎 好美



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動にご理解ご協力を賜わり有り難うございます。

昨年11月に開催された定期総会において、同窓会規約第7条2項により役員会での推薦及び出席会員皆様のご承認をいただき第3代の会長に就任いたしました山崎好美（3回生）と申します。前会長同様宜しくご指導ご鞭撻の程お願い致します。会報は昭和59年11月に第1号が発行されました。今年もまたこうして皆様にお届け出来る事に感謝申し上げます。

当会は今年3月の卒業生を迎え

て会員数が2万人を超え、ますます会としての役割が重要になってきています。会報の持つ意義は本会目的にあるように、会員相互を結ぶ大切な手段であり、年1回の発行ではありますが会員の皆様にとっても重要な情報源であると自負しています。これからもきめ細かい情報発信に努め、内容の充実を図っていきます。

さて、母校に目を向けてみますと今年の入学者は3年ぶりに定員数以上を確保することができ、志願者数も前年比で124%と大きく増えました。また、女子学生の入学者が増えて女子の占める割合が2割を超え、キャンパスの雰囲気も大分様変わりしてきています。

先日の新聞報道によりますと、全国の私大の4割が2006年以降定員割れと報じていました。大学の大衆化から淘汰の時代を迎えている状況下での母校の数字は特筆すべきものでしょう。2018年問題が

第44号

発行
横浜商科大学
同窓会
TEL・FAX 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
印刷
(株)サン・プリンティング
TEL 03-3750-6633

迫る中、一段の努力が求められています。4月からの新学科観光マネジメント学科もその一環です。また、今年の卒業生に対する求人数は7千社を超えており、これは学生三人当たりに換算すると20社以上になります。

本学が有為な人材を輩出する為に教職員一丸となつて努力した結果だと思えます。同窓会としても関係者各位と連携を密にして母校の発展に寄与していきたいと思えます。

7月には学長の交代があり、柴田悟一学長が退任され小林雅人教授が就任されました。新学長のもと来年度に行われる創立50周年記念事業に向けて、準備も着実に進められています。

本学卒業後、全国各地並びに海外で建学の精神「安んじて事を託さるゝ人となれ」を胸に秘め活躍されている会員の皆様は是非変わりのつある母校商大をその目で確かめていただきたいものです。

最後になりますが、今後とも当会にご協力を重ねてお願い申し上げます。

第39回横浜商科大学同窓会総会懇親会



学長就任にあたって

学長 小林 雅人



7月11日に7代目の学長を拝命しました。どうぞ宜しくお願いいたします。同窓会の皆様には、毎年多くのご支援とご援助を頂いております。この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。

私が商大に赴任してから早いもので、もう28年の歳月が過ぎてしまいました。私の専門は水産海洋学や海洋環境学といった分野ですが、これまでに、生物学、生態学、環境科学、統計学、基礎演習、演習(ゼミ)、外書講読という科目を担当してきました。私の講義を受講された卒業生も

多数いらつしやると思います。このような異分野出身者ですが、どんな分野であつてもビジネスに結びつく時代ですので、将来の仕事に結びつくヒントになればと、学生たちを教育してきました。

すでに同窓生の皆さんはご存じのことと思いますが、商大では今年度から貿易・観光学科を改組し観光マネジメント学科を新設しました。これを機に、全学科でカリキュラムを一新し、商学の専門知識と技能を教授するだけでなく、社会人基礎力の育成プログラムを強化しました。

商大ではこれまで実践的な教育を行っていると謳ってききましたが、カリキュラム改組を機に、実質的な知識とスキルを身につけさせるという、もつと社会に直結した教育を行って参ります。また、商学部が担うべき起業家の育成、

税理士や公認会計士の育成にも力を入れていきたいと考えています。

私は、学生たちの満足度を高めることに全力を尽くす所存です。「商大に入学して良かった、学んで良かった、卒業して良かった」と思ってくれる学生を一人でも多く輩出したいのです。ただ、ひとりで満足度と言っても、現代の学生は多様化していますので、大学が期待されることは多岐にわたります。カリキュラムや講義内容に期待する学生、課外のサークル活動に期待する学生、海外留学や国際交流に期待する学生、日々のキャンパスライフに期待する学生など、学生によってさまざまです。これらすべての学生の満足度を高めることは並大抵のことではありません。

しかし、本学の教職員それぞれが担当部署で最善を尽くすことで、さまざまな場面で学生たちに満足感を与えられるものと信じています。

また、在学中に満足感を得た学生は、本学を卒業した後でも満足感を持ち続けてくれる

ています。入学してくる学生諸君が秘めている能力には無限の可能性あります。本学で学ぶことで隠れた能力を開花させ、社会で安心して物事を任せられる人として活躍できるように教育することが、在学生ばかりでなく本学の卒業生

— 未来へ —

観光マネジメント学科 (定員70名) 新設

我が商大は1966年短期大学を開学し、1968年商学部・商学科の単科大学に1974年に商学部三学科(商学科、貿易・観光学科、経営情報学科)となり、「安んじて事を託さるゝ人となれ」という建学の精神を掲げ、邁進してきました。

以来40有余年、さまざまな社会情勢に対応する為、本年(2015年度)貿易・観光学科を観光マネジメント学科に改組されました。

尚、下記の写真は、平成26年11月26日、近畿日本ツーリスト(株)と「観光振興における連携に関する協定」を

業生の満足度を高めることになります。

はなはだ微力ではありますが、精一杯学生たちと向き合って参る所存です。今後とも、同窓生諸氏にはご指導、ご鞭撻のほどを、どうぞ宜しくお願いいたします。

締結し、柴田悟一学長(平成27年当時)と、首都圏営業本部長 木島雅人氏との間で、つるみキャンパスにて調印が交わされた。



近畿日本ツーリスト(株)との観光分野における人材育成で連携

平成25年度収支計算書

自 平成25年10月1日
至 平成26年9月30日

収入の部		単位：円
科 目	決算額	
I 会費収入	11,280,000	
II 事業収入	552,000	
III 資産運用収入	28,445	
IV 雑収入	21,512	
V 積立金(剰余金)取崩収入	0	
当期収入合計(A)	11,881,957	
前期繰越収支差額	67,220,792	
収入合計(B)	79,102,749	

支出の部		単位：円
科 目	決算額	
I 事業費	3,011,300	
II 準会員支援金	4,984,838	
III 組織強化費	3,098,786	
IV 管理費	3,253,685	
当期支出合計(C)	14,348,609	
当期収支差額(A)－(C)	-2,466,652	
次期繰越収支差額(B)－(C)	64,754,140	

平成26年度収支予算書

自 平成26年10月1日
至 平成27年9月30日

収入の部		単位：円
科 目	予算額	
I 会費収入	12,000,000	
II 事業収入	800,000	
III 資産運用収入	25,000	
IV 雑収入	0	
V 積立金(剰余金)取崩収入	0	
当期収入合計(A)	12,825,000	
前期繰越収支差額	64,754,140	
収入合計(B)	77,579,140	

支出の部		単位：円
科 目	予算額	
I 事業費	3,020,000	
II 準会員支援金	4,500,000	
III 組織強化費	3,320,000	
IV 管理費	3,580,000	
当期支出合計(C)	14,420,000	
当期収支差額(A)－(C)	-1,595,000	
次期繰越収支差額(B)－(C)	63,159,140	

平成25年度 事業報告

(自 平成25年10月1日 至 平成26年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行(年1回)
3. 支部設立の推進(特に都道府県単位支部)
4. 本部・支部及び各支部間の連携強化
5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会の会員出席率向上
8. 事業実績

平成25年
10月3日 第51回全国空手道選手権大会出場支援
10月22日 大学祭(飯山祭)へ支援
11月12日 France Open Football Five-a-side 出場支援
11月23日 平成24年度定期総会(第38回)開催
11月28日 第8回全日本学生剣道オープン大会出場支援
平成26年
3月22日 平成25年度学位記授与式・記念品贈呈・卒業記念パーティー支援
4月1日 平成26年度入学記念品贈呈
同窓会奨学金贈呈(3名)
5月21日 大学との定期懇談会開催(春季)
6月9日 留学生懇親会支援
8月5日 在学生支援(ベンチの寄贈・France Open Football Five-a-side 出場支援・
タイ エフチャネルカップ ソサイチ(7人制サッカー)国際大会出場支援)
8月8日 平成26年度有資格者特待生支援
9月20日 同窓会会報第43号発行(開学50周年記念事業募金
案内同封)平成26年度秋季学位記授与式・記念品贈呈



平成25年度貸借対照表

平成26年9月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 現 金	193,068	正味財産	76,254,140
2. 普通預金	8,546,151		
3. 定期預金	67,485,599		
4. 立替金	29,322		
合 計	76,254,140	合 計	76,254,140

<同窓会規約第18条が一部改正されました>

本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入を充てる。但し、準会員は入学時に、同窓会費として4万円を納入しなければならない。なお、同窓会費は4年間にわたって分割納入を認める。また、賛助会員は、入会手続き時に賛助会費として1万円を納入しなければならない。
1. 一度納入した同窓会費は原則として返還しない。
2. 但し、入学手続き完了後、入学を辞退し、返還の申請があった場合は、納入した金額の返還に応じる。

- (1)(2) 削除
3. 本条項は、平成28年4月入学生より適用する。
4. 会計規約については別途定める。

尚、ご不明な点は同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

平成26年度 事業計画

(自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 同窓会報、ホームページ等による情報発信
3. 本部・支部及び各支部間の連携強化(会員増強のための情報提供)
4. 支部設立の推進
5. 会員名簿の整理及び管理
6. 本部総会・各支部総会の会員出席率の向上
7. 在学生への援助(奨学金・課外活動)
8. 経費の節減

支部だより

新潟支部 支部長

田村 昭雄(第3期卒)

新潟支部会員の皆様、いつもお世話様です。平成26年度支部総会は8月30日(昨年)、新潟・万代シルバーホテルにて、来賓として同窓会本部高岡副会長、大学からは柴田学長(当時)よりご出席頂き開催しました。

新潟支部総会は2001年の設立より14回目の開催となります。また、恒例となりました支部間交流として、群馬支部より松山副支部長もご出席頂きました。決算・予算等審議、承認後の本部及び大学との情報交換等々質疑応答も活発に行われました。開学50周年(平成28年)のこと、また、以前の支部総会で出された入試・募集のあり方、新潟での広報等の提言について大学との懇談会で取り上げて頂き、参考意見として検討頂いていく旨の報告を受けました。最後に新潟支部総会について、出席率向上に向け機会あ

るごとにお呼び掛け等致しておりますが低迷しております。是非お一人でも多くの方に出席頂きたく、皆様も何か妙案または、ご要望・ご意見など何でも結構です、お聞かせ下さい。まずは出席と合わせてお願い申し上げます。



経営情報システム研究支部 支部長

滝口 猛(第10期卒)

経営情報システム研究支部の第7回支部総会を2014年9月14日に新横浜国際ホテルにおいて支部会員26名の参加で開催しました。

当支部の母体は平澤ゼミOB

であり、当日は「平澤ゼミ40周年記念祝賀会」と併せて懇親会を開催しました。パーティーには平澤名誉教授夫妻をお招きし、OB51名と家族3名の合計56名の盛況な宴となりました。会場に歴代のゼミ卒業アルバムも展示し、学生の頃の思い出を語り合ったりして、皆学生に戻った様な雰囲気の中、翌日が当支部顧問の平澤先生の77歳の誕生日でもあり、誕生ケーキや花束贈呈でお祝いし、平澤先生にも喜んで頂けたと思います。沢山の談笑の後、次の50周年に会う約束をして散会となりました。

福島支部 支部長

斎藤 晋一(第16期卒)

「福島支部近況報告」

福島で良いニュースといえば日本酒が金賞数で3年連続日本一になったことや、「日本ではいちばん大切にしたい会社」大賞に3社が選ばれるといったことで逆境に強い底力を感じます。が、反面では除染業者による治安の悪化や東電賠償を受けた避難民のマ



ナーの悪さが問題となっており、そういった影の部分も払拭すべく地元企業が、野球やバスケットでプロリーグのチームを立ち上げ、後押しをして熱心に応援できるように環境作りを始めた「福歌」といった音楽イベントを開催して若者の地元定着を図っております。

私の勤務先の会長が福島商工会議所の会頭で、近県へ訪問して地域活性化策を見学しております。長野市でのJ3リーグの盛り上がりや、新潟市での世界で通用する農業教育や仙台市でのコメ工場など似た

土地柄からも参考になりますので、今は復興に向けた策を多方面から吸収しているところであります。

マーケティング研究会支部 副支部長

永田 寛治(第24期卒)

皆さん、こんにちは。私たちは、マーケティング研究会は、宮原ゼミOB会から同窓会支部へ転身して活動をスタート致しました。今秋で5年を迎え、その間に宮原ゼミ出身ではない方の加入もあり、さらに輪が広がることを期待しているところです。

年に1回、秋に定期総会を開催し、同時に「研究発表」と称して各分野で培った経験や知識、情報を交換する場としてや意見交換の時間も設けています。

頭を使ったあとは、宮原先生を囲んでの懇親会。近況を報告したり、学生時代の思い出を語ったり、幅広い年代の卒業生がひとつの場に集う「貴重な機会」と捉え、会の活動に取り組んでいるところです。

宮原ゼミでは「ゼミ新聞」を発行する習慣がありまし

た。その伝統は現在も「研究会会報」として続いており、定期総会に出席できなかった全国のゼミOBにお届けしております。

今年も5月に発行しておりますので、会報をご覧になりたい方、マーケティングに興味がある方は、同窓会事務局を通じてご連絡ください。会報をお送りさせていただきます。

「研究会」の名称に堅苦しさを感じるかも知れませんが、どうかお気軽にお声をかけていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



関西支部 支部長

林 永年（第10期卒）

【支部総会開催】

平成26年12月6日午後6時
千日前「鳥よし本店」
参加者 本部より2名
支部会員6名 合計8名

午後6時より支部総会の開催宣言があり、当期間内の支部活動報告と、木村会計担当者より決算報告、次期予算案について説明があり意見を求めた後、賛否を問い全員の賛成をもつて全て承認された。

次に、本部からの出席者西海様、斉藤様、支部長会議に出席した者から同窓会本部の活動、大学の現状など次のような報告がなされた。平成28年に「開学50周年」を迎えることから様々な行事を開催する予定であるとのこと、学内設備充実のため寄付金を募集していること、平成27年4月からは貿易観光学科を廃止し、観光マネジメント学科を新設し募集すること等々。

また当日は転勤で横浜に帰っている春名会員が遠方より出席してくれた。感謝です。

ところで、最近の卒業生で関西圏に就職する人は皆無で、支部会員数は60人前後を維持しているものの増加は期待できない。聞くところでは、「地方からの入学者が少ないためではないか」ということであった。

当支部では「夏の総会」を8月又は9月の平日の夕刻に大阪市内で開催している。現在の参加者は5名程の固定メンバーである。主な活動は、本部総会への参加者決定、支部総会の打合、前年支部総会後の重要事項の報告を行っており、多数の支部会員の参加を期待している。



教員支部 支部長

和内 広行（第18期卒）

教員支部は8月7日（金）に川崎市立商業高等学校において大学で教職課程を学んでいる学生に対して「夏季教職研修会」を開催いたしました。

当日は川崎市立商業高校の生徒にも協力していただき、実際の教育現場で、より臨場感を出しての模擬授業、教員支部の先生方による講話やパワーポイント操作指導、また、学生によるTT（チームティーチング）での模擬授業などをおこない、教員支部側で授業全般についてアドバイスをさせていただきました。



学生には最後にパワーポイントで研修のまとめを作成、発表していただきました。

参加された10数名の学生は皆一生懸命に取り組んでいました。

12月には湯河原学術研修所において1泊2日で「冬季教育実践演習」をおこなう予定になっております。

四国支部 支部長

宇都宮吉彦（第11期卒）

平成27年6月20日愛媛県松山市にて宮原名誉教授ご夫妻、伊藤商学部長、斉藤幹事長をお迎えし、第10回四国支部総会が開催されました。総会終了後懇親会では、愛媛ご



当地郷土料理をごちそうになり、今治タオル美術館を観光し、楽しく2日間を過ごし、再会をお約束しました。

支部総会への参加をお呼びかけしてもなかなか参加者が増えない状況ですが、これからは細く長く継続してまいりますので、卒業生の皆様のお力添えをどうか宜しくお願いいたします。

飯山会支部 支部長

榎田 悠一（第1期卒）

第7回飯山会総会・懇親会を平成27年6月27日（土）16時より静岡グランドホテル中島屋にて開催致しました。

今回は、昨年より静岡支部と合同で懇親会を行うとの声を持ち上がり静岡での開催となりました。

第一部総会は各支部で、第二部講演会では、柴田学長（七月退任）の、これからの商大について明るい未来に向かって、教職員一丸となり頑張っていますと力強いお話がありました。第三部懇親会では、静岡支部の皆さまと、大いに語り合うことが出来、有意義

な会でした。その後、飯山会支部は熱海へ一泊。夜どうし、色々な話をして、一層親交を深めることが出来ました。

今回は、初めての企画でしたが、諸々反省点を踏まえて、第8回に向けて進めていこうと思います。静岡支部の皆様ありがとうございます。今度は、横浜でお会いしましょう。



静岡支部 支部長

山崎 成（第4期卒）

第18回総会に際し静岡支部会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。平素より同窓会支部活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度の支部総会は6月27日静岡グランドホテル中島屋にて無事終了致しました。これも会員の皆様のご協力のおかげと思っております。誠にありがとうございます。

さて、今年は来賓として柴田学長をご招待し、本部から山崎会長が出席、また懇親会には飯山会支部（9名）との合同で開催しました。

総会後の講演会では柴田学長より「今後の横浜商科大学について」をテーマにしたお話を拝聴し、観光マネジメント学科、英語教育、留学生等のお話が印象的でした。また、柴田学長はこの7月で大学をご退職されるとの事でした。

静岡支部においては、この4年間にいろいろとご協力を頂きましたことを、お礼申し上げます。本当にありがとうございます。懇親会においては、飯山会支部と高見ご夫妻（12期卒と13期卒）が初参加されたので、総勢20名となり、大変に盛り上がった懇親会となりました。

来年も大学の先生をご招待して講演会を予定しております。

す。少しずつではありますが、同窓会に興味を持つ会員が増えつつあります。皆様の一人でも多くのご協力を得て、今後も有意義な同窓会を開催できよう役員一同頑張つていきます。どうぞよろしくお願い致します。

群馬支部 支部長

鈴木 清照（第8期卒）

「継続は力なり」を信じて横浜商科大学同窓会群馬支部は去る7月に第11回支部総会を開催し、無事終了することができました。

支部を設立した当初は、いくつか支部の目的や目標、年間テーマ等を考え支部の運営に当たりました。また、設立にあたっては先に設立していた新潟支部設立の資料や、規約等を参考にさせていただきました。活動内容の1つは「支部会報」上州から「風」の発行（現在休刊）。もう1つは「新潟支部との支部間交流」であります。

しかし、年を重ねてきますと活動といえば「支部会報」が都合により休刊せざるを得なくなり、支部総会も出席者の増加は難しく低迷が続いています。が、「新潟支部との交流」は継続している状況です。が、「継続は力なり」を信じて群馬支部会員二百数十名の為に役員共々努力を注いでいく所存です。

今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

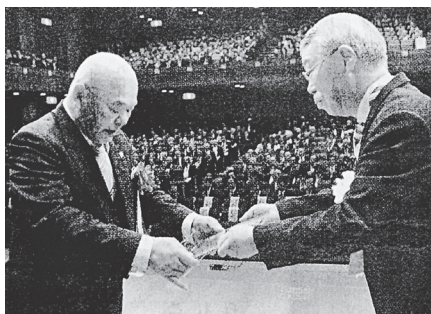
不動産支部 幹事

竹田 嘉夫（第11期卒）

首都圏を中心とした17大学の不動産関係OBで構成されている「大学不動産連盟」の第12回総会が明治大学駿河台校舎アカデミーコモンにおいて平成27年7月8日（水）に開催されました。総会担当は明治大学駿台会。

本総会において理事会報告・収支報告・理学校である当会「横浜商大不動産会」から「上智不動産ソフィア会」へ理事長校交代式等が行われました。

記念講演は明治大学「向殿名誉教授」による「安全学から見た企業成長のキーポイント」が行なわれました。



商大野球部 佐々木正雄監督が球児指導で
秋田県大仙市より表彰されました。

佐々木監督表彰される



左の写真は懇親会の席に
て、原常務理事と共に写した
横浜商大不動産会のメンバー
の集合写真です。

第45回 横浜商科大学 学位記授与式



平成26年度 第45回学位記授与式

平成27年3月21日(土) つるみキャンパスにおいて平成26年度学位記授与式が厳かに行われました。
242名が晴ればれしく商大を巣立ち、社会人としての第一歩を踏み出していきました。



～清しい笑顔に大きな力が感じられる～



卒業記念パーティー会場

慎んでおくやみ
申し上げます

かねて病氣療養中でした 同窓会初代会長・金子剛士氏
が、平成27年2月23日ご逝去されました。

同窓会発足時から永年にわたり、多大なるご尽力いただき
ましたことに心より感謝申し上げますとともに、改めて
ご冥福をお祈り致します。

合掌

新会員紹介

貿易・観光学科卒

奥戸ゼミ

近畿日本ツーリスト(株)神奈川

石井はるな

大学を卒業して早半年、旅行会社で毎日元気に働いております。仕事をしていた、学生時代に得たことが役立つ場面が多々あります。そんなとき、横浜商科大学の卒業生であることを誇りに思います。

学生時代を思い出してみると、大学4年間という人生で一番自由が利く時間を使って、色々なことにチャレンジしてきました。それは、初めて学ぶ観光学の授業をはじめ、旅行業務取扱管理者資格の取得、ゼミやサークル活動、留学にアルバイトに遊び等：よくばりも良いところというくらい自分のやりたいこと、好きなことを行っていました。もちろん挑戦するきっかけを掴むまでは、価値観の違いから反対されることも多々ありました。また、物事を達成していく中で、できると思っ

ていたことが思うようにできないことで壁にぶつかり、辛くて諦めてしまおうと思ったこともありました。しかし、どれも自分が興味を持って挑戦すると決めた道であったからこそ、諦めず最後までゴールを見失わずに挑戦し続けることができたと思います。

そんな学生生活の中、私は多くの人との出会いがありました。大学の友達、先輩、先生、事務の方々はもちろん、留学先で出会った人、先生の紹介で出会った社会人の方々、そして家族。人との出会いが私のモチベーションを高めるきっかけとなり、さらに私が行動するにあたり背中を押し、支え続けてくれました。素直じゃないので、直接言葉にして『ありがとう』と伝えることができたのはごくわずかな方だけかもしれません。ですが、皆さんには心から感謝の気持ちでいっぱいです。横浜商科大学には、様々な夢を持つ学生がいること、その一人でした。彼らが夢を持ち、挑戦し続け、その夢を

叶えられるようなサポート体制があるのが横浜商科大学です。それは決して金銭面だけを指すのではありません。先生方や職員の方々と学生との距離が近いからこそできる『心』の支えです。私は横浜商科大学がいつまでも暖かく学生を迎え、支えてくれる、そんな学校であり続けてくれたらいいなと願っています。

経営情報学科卒

プロフェッショナルコース浮田ゼミ

梶谷 光

大学生生活を通じ、数多くの事を学びましたが、その中でも一番実感している事は、「自分に素直である事が成功への近道になる」という事です。私にとって大学で出会った先生方、事務所の方々には「人生の先輩」として素晴らしい方々ばかりでした。

「あの人と話をしてみたい！色々聞いてみたい！」という自分の素直な気持ち、好奇心こそが4年間特待生として有意義な活動ができたきっかけだと認識しております。横浜商科大学には様々な分

野で素晴らしい専門家が数多くいらつしやいます。私は所属していた浮田善文先生のゼミで統計学を学び、勉強面だけでなく、大学生活でのアドバイス等も沢山相談させて頂きました。先生と生徒の距離が近く、「物事を様々な視点で考える」という事をいつも近くで見えて学ぶ事が出来ました。友人がゼミ長を務めていた伊藤穰先生のゼミにも何度か参加をさせて頂き、大好きな友人・後輩達と学外でも数多くの良い思い出を作る事ができました。

4年間連続学業成績首席として、特待生という大変光栄な賞を賜り、卒業式には学長賞を賜りましたが、大学時代、自宅では一度も勉強をした事はありませんでした。4年間を通じて、ONとOFFの使い分けに関しても良い人生勉強になったと実感しております。社会人として働く現在では、休日の大切さを身をもって実感しております。

新人研修も一人早く終わりましたがいきなり現場での活動になりましたが、現在SEとして大手

のお客様の情報を管理し、お客様先と技術者を繋ぐ仕事をしております。お客様には技術者が考えている事をきちんと伝えるように話をして、技術者にはお客様の意図を考え、上で伝えるという難しい仕事です。そのような時、大学生活で学んだ「見てみたい！知りたい！」という素直な気持ちを状況に応じて使い分けられるようにして、沢山の事を吸収しながら活動しております。

社会に出ると理不尽な事も沢山あります。私自身もこの数ヶ月で数えきれない程、数多くの荒波にもまれながら、大学生活で培った数多くの経験・思い出が私の原動力となり、一生懸命業務に励んでいます。

尊敬する大学の先生方や事務所の方々、先輩方、大好きな友人と後輩達に出会えた事、数多くの素晴らしい経験の全てが私の4年間で得た全てです。

心の煌めきを大切にしながら、またいつか大学に関わる機会を夢見て今後もより一層精進して参ります。

開 学 50 周 年 寄 付 者 一 覧

(大学提供/会員のみのみ)

タカハシ タツオ	関山 清人	坂上 豊	植木 茂雄	大島 昭彦	樋口 智
ナカムラ ノブオ	岩澤 拓也	榊 克己	新堀 嘉彦	大嶋 裕	尾崎 海人
ヒガ ヒデキ	菊地 英治	山口 英則	深澤 宏住	大波 進	片野 博
ワタナベ タカオ	吉井 直樹	山崎須美子	深澤 将広	滝上 徹	蜂須賀 弘
宇都宮吉彦	吉村 俊克	山村 達男	神永 義幸	池田 恵一	望月こず枝
吉澤 栄二	吉田 陽一	山内 実	須田 雄司	竹田 嘉夫	望月 一範
阿部 昭	宮田 和義	山崎 徹也	菅井 彩香	中山 昇平	茂木 孝二
安彦 勇人	桐原 武文	寺田 智洋	是枝 隆二	中西 勝	目黒 正栄
井上 晃	桐田 真	柴田 肇	成宮 朱美	中尾 義徳	門前 俊則
井樋 秀則	栗原 政光	柴田 敏郎	清水 勇豪	中野 泰宏	山田 茂之
一瀬 廣行	剣持宏太郎	酒井 幹雄	西園 康朗	長谷川 晃	頼 陽太郎
羽鳥眞一郎	互野 完太	秋澤 晴彦	青山 大幸	長谷川 伸	落合 明男
永川 芳仁	工藤 健吾	渋谷 茂	青山 力三	長田 昌明	藍野 常司
榎原 豊人	荒川 利一	小泉 昌親	青木 政樹	柘植 恵一	林 準子
榎田 悠一	高橋 千明	小泉 茂治	齊藤 友美	坪井 信春	櫻庭 秀夫
遠藤 隆弘	高瀬 泰雄	小倉 啓一	石井 元一	鶴島富二夫	澤口 芳明
横溝 拡延	黒川 博元	小堀 光雄	相澤 七峰	田村 昭雄	齋藤 延代
荻野 明広	今井 宏	小俣 嘉寛	村岡 義司	田中 秀治	齋藤 佳男
角田 恵輔	根本 京子	小林 智基	村松 恒則	田中 信江	高山 恒明
笠原 謙司	佐藤 雅史	小林 友紀	村田 剛	土屋 淳	細谷 泰久
関 泰平	佐藤 充	松岸 正泰	大久保辰巳	藤井 照代	池田 哲哉
関口あけみ	佐藤世利子	松山 宏一	鈴木 大介	入沢美知夫	山崎 好美
関口 文男	大久保 茂	上村 裕伸	大熊 空海	飯島 英幸	
関根 潤一	細畑 卓	上澤 寛	大塚 佑也	比留川 仁	以上142名

開学50周年記念事業募金に引き続きご協力を!!

平成25年よりスタートした記念事業募金では平成27年9月15日現在、ご協力をいただいた方々です。ありがとうございます。

母校の発展と充実を支えるために引き続き、同窓生の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

募金の際には、同封の振込用紙をご活用下さい。

寄付ご協력에感謝し、ご芳名を記載させていただきます。

会員のみのみ 敬称略・順不同 (50周年記念事業終了後、改めて芳名録を記載させていただきます。)

お問い合わせは 大学事務局まで

TEL 045-571-3901 FAX 045-571-4125

<http://www.shodai.ac.jp/>

〈編集後記〉

戦後70年の節目の夏が過ぎ平和のありがたさを、かみしめ、とりあえずは豊かな日本を築き上げた先人達に感謝し、その体験を戦後世代が未来へ伝えなくてはならないと思います。

そして、我同窓会も40歳という壮年期に入り、ますますその力を発揮する時がきました。

心身共に自己管理し、理想を追求し、幸せを掴みましょう。

会報44号発行に、ご協力・ご寄稿いただき、ありがとうございます。尚、この会報は10年間HPに掲載されますので、ご了承ください。

同窓会事務局

横浜商科大学つるみキャンパス内

月・火・木・金 10:00～16:30 勤務

TEL・FAX 045-583-9031

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

E-Mail : dousou@shodai.ac.jp

ホームページ <http://www.shodai-ob.com/>

祝 第40回 定期総会・懇親会の ご案内

日頃より、同窓会活動にご理解、ご尽力を賜り、心より感謝と敬意を表します。
本会は今年40周年を迎え、会員数も20,000人を超え各方面で大活躍されています。
さて、平成26年度定期総会を標記の通り開催いたします。
ご多用中とは存じますが、是非ご出席いただきますよう、ご案内申し上げます。

◇◇◇ 建学の精神のもと・同志よ、ここに集い語ろう ◇◇◇

日 時：平成27年11月21日（土） 午後5時より 総会
午後5時45分より 講演会（小林雅人学長）
午後6時30分より 懇親会

場 所：新横浜国際ホテル（南館）045-473-1311

JR新横浜駅北口徒歩3分

市営地下鉄新横浜駅7番出口徒歩1分

議 案：1) 平成26年度事業報告・決算報告
2) 平成27年度事業計画案・予算案
3) その他

会 費：¥8,000（当日会場にてお願いします）ご家族同伴大歓迎
尚、ご夫婦で卒業生の場合は各々¥8,000、ご同伴の中学生以上は1人¥2,000
となります。

今年卒業された新会員および今回に限り、平成17年3月以降の卒業生は

会費無料で～す！

※懇親会には先生方・職員の方々も多数出席されます。

お問い合わせ：同窓会事務局 TEL・FAX 045-583-9031

——— 第10回支部長会議は、同日・同ホテルにて午後3時より開催 ———